

研究の概要

20 25 年 3 月 24 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	4日目に孵化補助術を実施した胚盤胞のiDAScoreはPGT-A結果と関連する
代表研究者 (所属・氏名)：	高門 千絵
研究の目的：	近年AIを用いた胚選別が胚の染色体検査の結果と相関があると報告されている。当院におけるPGT-Aは、自然孵化前のDay4で孵化補助術を行っているため、胚盤胞におけるiDAScoreが正確ではない可能性がある。そこで、今回は早期の孵化補助術後の胚盤胞のiDAScoreが胚形態と染色体の解析結果に関連性があるかを検討した。
調査データ該当期間：	20 24 年 3 月 1 日 ～ 20 24 年 9 月 30 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	日本産科婦人科学会の選定方針に準じて2024.3.1-2024.9.30にPGT-Aを実施した210個の胚盤胞を対象とした。iDAScoreがDay3における2.0-4.9のD3低値群と5.0-7.9のD3高値群、胚盤胞における1.0-5.9のBL低値群と6.0-9.9のBL高値群にそれぞれ分類した。各群におけるPGT-Aの染色体正常胚・モザイク胚の割合を比較するとともに、採卵時の母体平均年齢とGardner分類のTE-A,Bの割合を比較した。
個人情報の取り扱い：	患者試料を分析する際には、連結可能匿名化をする。また試料の分析から得られる情報についても、厳重な管理とセキュリティ体制の整備を徹底し、連結可能匿名化を行い、符号のみで取扱うので、個人情報は公開されない。
本研究の資金源 (利益相反)：	なし
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	06-6978-8824 生殖技術部門・高門 千絵
備考	